

無料公開セミナー

高齢障害者の生活について考える

～日常生活の中の意思決定支援～

福祉サービス第三者評価は、障害者施設や高齢者施設などで、様々な背景をもつ方々の生活がどのように行われているかを確認しています。どの施設の職員も強い倫理観を持ち、利用者の尊厳と最善の利益を考え、支援に努めている姿がうかがえます。

ただし、福祉職としての倫理観を持ち続け、支援の中に喜びを見つけていくには、多くの課題があることも確認されています。そのような中、障害者施設や高齢者施設では、利用者の主体的な生活を支えるために、意思決定支援や自己決定、自己選択の取り組みが進められています。

今回のセミナーでは、障害者施設や高齢者施設での実践を学び、利用者主体の支援のあり方について、あらためて参加者全体で考えてみたいと思います。

日常生活に課題があっても、年齢を重ねても、安心して暮らせる社会の実現を一緒に考えてみませんか。積極的な参加をお待ちしています。

日時：令和8年8月24日(月) 開始13:00～ 受付12:30～
会場：ウィリング横浜 12階 研修室 121-122
定員：60名(先着順) 参加費：無料
主催：公益社団法人神奈川県介護福祉士会 福祉サービス第三者評価事業部
後援：一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会
一般社団法人神奈川県知的障害施設団体連合会

第一部 基調講演 13:00～13:50

「日常生活に根ざした意思決定支援～本人らしい暮らしを支えるために～」

講師：聖学院大学 准教授 望月 隆之 氏

第二部 現場からの実践報告 14:00～15:00

障害者施設の現場から：社会福祉法人藤沢育成会 湘南あおぞら
施設長 宗像 喜孝 氏

高齢者施設の現場から：認知症対応型通所介護事業所「ほっと」
管理者 コッシュ石井 美千代 氏

第三部 グループ討議 15:10～16:30

コーディネーター：望月 隆之 氏



<プロフィール>

望月 隆之 氏 (聖学院大学心理福祉学部准教授)

専門分野：障害者福祉、ソーシャルワーク

社会貢献活動：神奈川県意思決定支援専門アドバイザー、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構運営委員長、港区障害者地域自立支援協議会副会長、社会福祉法人グリーン理事、NPO 法人とろっこ理事、他。

神奈川県内の知的障害者グループホーム勤務後、田園調布学園大学助教、専任講師を経て現職。グループホームを中心に、知的障害者の地域移行や意思決定支援について研究。津久井やまゆり園事件後、知的障害当事者団体(にじいろでGO!)の立ち上げに関わる。

令和 8 年度 公開セミナー 申込書

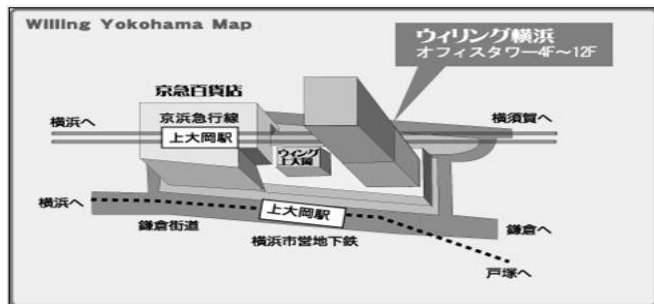
お申込は下記の FAX・メールにてお願い致します。

- ※受講決定通知は送付しませんので、当日会場へお越してください。
- ※定員オーバーでお断りをする場合は事務局よりご連絡をいたします。
- ※申込後ご都合が悪くなった場合は、事務局へ必ずご連絡ください。

F A X : 045-322-6678

E-mail : info@kanagawa-accw.org

≪会場案内地図≫
 ウィリング横浜
 京急・市営地下鉄 上大岡下車
 横浜市港南区上大岡西 1-6-1



ふりがな		
お名前		
神奈川県介護福祉士会 会員の方	会員No.140	
ご自宅住所	〒	
	TEL _____	
勤務先名		
勤務先種別	※勤務先の種別に○をお願いします ・ 高齢分野 ・ 障害分野 ・ その他	

公益社団法人神奈川県介護福祉士会
 〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町 3-17-2
 神奈川県社会福祉センター内 5階 TEL045-319-6687 FAX045-322-6678